

競技上の確認事項

1、競技開始時刻

6月17日(土)予選、6月18日(日)決勝トーナメント

第1試合開始 キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター 時 分から

2、試合コートについて

試合進行によって試合コートを変更する事があります

3、各コートにおける試合球とホイッスル

男子、混合	モルテン	A,C,Fコート	短管
女子	ミカサ	B,D,E,Gコート	長管

4、審判割当について

プログラムの組合せの審判割当通り行います
女子予選リーグで3位になったチームはトーナメントシード決定戦の審判があります
大会運営にご協力をお願いします

5、その他

『選手の安全と試合進行の円滑化のために以下の注意について徹底をお願いします』

(1) 試合前

- ① 開会式終了後、競技フロアに入れるのはエントリーされた選手・監督・コーチ・マネージャーとします
- ② フリーゾーン外縁の防球フェンス(ラインテープ)と壁の間では、アップに関する事は一切できません
- ③ 次の試合のチームは、前試合の両チームがコートを退き、コートチェック終了後にコートに入ること
- ④ トスは、両チームがコートに入った直後に行います

(2) 公式練習

公式練習はコートを使用しているチームに優先権があります。優先権のないチームは、フリーゾーン内の安全な場所で練習できますが、サーブの練習時には練習を中止して下さい
優先権のあるチームの邪魔にならないように、十分配慮して下さい

(3) 試合中

- ① ボール籠は防球フェンスの外、飲み物、救急バッグなどの荷物はアップゾーンに置いて下さい
- ② 第1、第2セットではリードするチームが7点、14点目に達した時、第3セットではリードするチームが8点目に達した時に、30秒間の給水のテクニカルタイムアウトを『健康管理』のために適用します
ベンチスタッフ(大人)は、選手およびスタッフ(小学生)全員が給水できるように準備をして下さい
ベンチスタッフ(大人)が指導する際には、選手およびスタッフ(小学生)の給水を妨げないようにして下さい
ベンチスタッフ(大人)は、レフェリーからの選手の体調について質問があった場合は、正確に回答できるように準備しておいて下さい

(4) 試合後

- ① 各チームはチームキャプテンがIF用紙へのサインを行い、速やかにコートを退いて下さい

(5) 試合間

- ① パスのみとし、ネットを利用した練習は禁止します
なお、次の試合のプロトコール開始設定時刻までに、そのフロアのすべてのコートが試合をしていない時は、フリーとします。
- ② 試合間の設定時間は10分です
試合が連続する場合は最大15分とします

(6) ワイピング

- ① ボールデッド時は各自のタオルでワイピングをさせて下さい
- ② 公式練習後・タイムアウトおよびセット間、テクニカルタイムアウト時はモップを使い、サイドライン間をセンターラインからエンドライン方向へワイピングをさせて下さい

審判団への競技上の注意について

『選手の安全と試合進行の円滑化のために以下の注意について徹底をお願いします。』

1、試合前

- ① 開会式終了後、競技フロアに入れるのはエントリーされた選手・監督・コーチ・マネージャーとします。
- ② 試合を担当するレフェリーがIF・ランナップシートを各コートに持って行き、試合の準備をして下さい。
- ③ フリーゾーン外縁の防球フェンス(ラインテープ)と壁の間では、アップに関する事は一切できません。
- ④ 次の試合のチームを入れる時は、前試合の両チームがコートを退き、レフェリーのコートチェック終了後にコートに入れるように、コート主任とレフェリーが調整して下さい。

2、公式練習

公式練習はコートを使用しているチームに優先権があります。優先権のないチームは、フリーゾーン内の安全な場所で練習できますが、サーブの練習時には練習を中止して下さい。

優先権のあるチームの邪魔にならないように、十分配慮して下さい。

3、試合中

- ① 監督、コーチ、マネージャーの服装は、統一した服装でベンチ入りして下さい。
- ② ボール籠は防球フェンスの外、飲み物、救急バッグなどの荷物はアップゾーンに置いて下さい。
- ③ 第1、第2セットではリードするチームが7点、14点目に達した時、第3セットではリードするチームが8点目に達した時に、30秒間の給水のテクニカルタイムアウトを『健康管理』のために適用します。
ベンチスタッフ(大人)は、選手およびスタッフ(小学生)全員が給水できるように準備をして下さい。
ベンチスタッフ(大人)が指導する際には、選手およびスタッフ(小学生)の給水を妨げない様にして下さい。
レフェリーは必要に応じて選手の体調についてベンチスタッフ(大人)に質問することができ、不調が疑われる選手への対応を指示することができます。

4、試合後

- ① チームにコートをややかに空けさせ、両チームがコートから退出後、レフェリーによるコートチェックが終了してから、次の試合のチームを一斉にコートに入れる様にして下さい。
- ② レフェリーはコートの記録席で両チームのチームキャプテンのサインをもらったら、集計は本部のIF集計席で行い、集計されたIFを本部IFまで提出して下さい。

5、試合間

- ① パスのみとします。ネットを利用しての練習は禁止します。
なお、次の試合のプロトコール開始設定時刻までに、そのフロアのすべてのコートが試合をしていない時は、フリーとします。
- ② 試合間の設定時間は10分です。
試合が連続する場合は最大15分とします。

6、ワイピング

トス時に各チームキャプテンに徹底をお願いします。

- ① ボールデッド時は各自のタオルでワイピングをさせて下さい。
- ② 公式練習後・タイムアウトおよびセット間、テクニカルタイムアウト時はモップを使い、サイドライン間をセンターラインからエンドライン方向へワイピングをさせて下さい。

7、ラインジャッジ

- ① 各自で体調管理ができるように、飲み物と汗拭きタオルを試合開始前に必ず用意させて下さい。
- ② ラインジャッジへのクレームがあった場合には、すぐにレフェリーに報告させるようにして下さい。
- ③ 試合前は防球フェンス際で待機するか、余裕があれば公式練習のボールが隣のコートに行かないように予防させて下さい。
- ④ テクニカルタイムアウト時やセット間等でラインジャッジの所定の位置を移動する時は、フラッグを持って移動し、給水や休憩を取るようになさせて下さい。